PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版
第46号
'99, 9, 1 発刊

Yeah! マスター No.3 ～記憶力の巻～

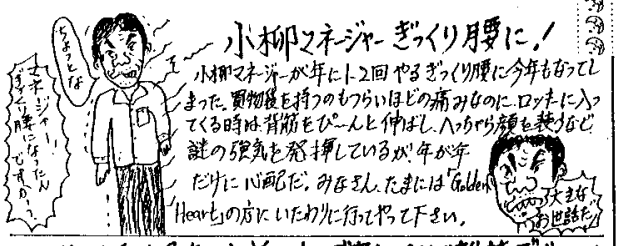
作. チーフ井上

田口マスターは記憶力が非常にすばらしい

拝啓 September

9月. 秋の気配が訪れます. なんだか早いですねー 1年は… 四季がはっきりしてる日本だからこそよけいに感じちゃうのでしょうか. そしてその夏の終わりはなんだか寂しいもんですね.

小柳マネージャー ぎっくり腰に!



小柳マネージャーが年に1-2回やるぎっくり腰に今年もなってしまった. 荷物を持つのもつらいほどの痛みなのに ロッキーに入ってくる時は背筋をぴーんと伸ばし, へらへら顔を装うなど謎の強気を発揮しているが, 年が年だけに心配だ. みなさん, たまには「Golden Heart」の方にいたわりに行ってやって下さい.

スタッフ ひかるちゃん. Yen shop武富士のCMで雑誌デビュー!

何気なく駅に落ちていた週刊誌を暇つぶしにながめていたところ「小林ひとみ"極限ハダ"」などにまじって Yen Shop武富士のCMの広告にひかるちゃんが載っていたのだ. 現在はニューバージョンになっているらしい. それにしても知ってる人のこういうのって複雑な気持ちになるもんだ. ヌードじゃなくて本当に良かったと思う…

カントリーな人達 ～Meet The Country～

「大野義夫さんとその音楽人生」①

ヨーデルとバンジョーが人生を変えた

カントリーとの出会いを通してカントリーを考察するこのコーナー. 今回はカントリー界の大御所 大野義夫さん(68才!)に思い切ってインタビューしてみました. 1つの質問に10の答でとても楽しく話を聞かせていただきました. 音楽と共に生き歌い続けているその情熱と迫力にいつしか胸がすがすがしくなりました.

◎ 9/17(土) ロッキーに出演します

→小学校3年ぐらいから音楽に目覚め, 学校唱歌を歌う代表として先生に選ばれ, 様々な所で歌った. 天性的に歌唱力はあったのだ. その後ウクレレ, そして中学になると自作のスティールギターを弾き, ハワイアンバンドを結成した. 当時はギターをつま弾く程度で人目をひかれるような時代, 何とも早熟な子供だった. 大学に入るちょっと前のこと「ウエスタンのスティールを弾かないか?」と誘いを受け, 現在の博品館劇場にあったR.A.Aビアホール(進駐軍専用)に行った. そして! そこでスティールを弾いていた原田実を見てショックを受ける. 「うまい! こりゃかなわない!」その日から大野さんは歌に専念することを決意する. ヨーデルのレコードなどは45回転を33回転に落として, カタカナで書きとり, 独学でマスターした. 法政大学に入り, 昭和27年日本で初めてのウエスタンバンド「ウエスタン・ジョリー・ボーイズ」を結成した. ジミー時田, 小坂一也, いかりや長介など様々な人達と出会い共演した. そしてその後日本中をロカビリー旋風が吹き荒れた. 昭和33年第1回日劇ウエスタンカーニバルにトップで出演した. 翌年堀威夫(現ホリプロ社長)の紹介でジョン・ベスパーさんという人と出会う. 彼はオーストラリア人で大野さんのヨーデルとバンジョーを非常に気に入り, 5弦バンジョーをプレゼントした. しかしまだ日本に5弦バンジョーがない時代, 4弦を弾いてた大野さんは当然弾き方が分からない. すると, 「自分がお金を出すから, バンジョーの修業をしてきなさい!」とアメリカの親友だったベスパーさんの力添えで, オーストラリア, ハワイ, アメリカと約1年のバンジョー修業とライブの旅に出る. このベスパーさんとの出会いが大野さんの人生を決定づけることになるのだ. オーストラリアからアール・スクラッグスに手紙を書いたところ返事が来た. バンジョーを教えてくれる! と, 謎の東洋人の熱い手紙にスクラッグスも動かされたのだ. ハワイからアメリカへ飛び, スクラッグスや様々なバンジョー弾きに師事した. そして日本に帰国してしばらく, スクラッグスからすごい内容の手紙が送られてきた. 「5月7日(土) アメリカ, テネシー州, ナッシビルにて"グランド・オール・オープリー"に一緒に出よう!」というものだった. 大野さんの人生が大きく開かれる時だった. さっそくニューヨークに飛び, バスに揺られて24時間. ナッシビルにたどり着いた. スクラッグス夫妻が出迎えた昭和35年のことだった. へつづく

チーフ井上の箱根フェス日記

くもり空が心配だったが, 金, 土日とも雨も降らず, そして暑くもなく, 心地良いフェスでした. 日曜日はすっかり晴れわたり, 絶好のコンベンション日和だった.

三線(じゃみせん)(蛇味線)を持っていたところ僕を含めて4人が持ってきてて, 一角に沖縄ブースができた. 泡盛を飲んで, 手作りのラフティー(豚の角煮)を食べた. おいしかった. ラフティーはロッキーの馬子ちゃん作. 3, 4人で沖縄民謡をやってるのを, いぶかしげに見て通りすぎるブルーグラッサー多数.

ラルフルズが人気投票No.1になった. ゴールデンタイムに登場したこともあるがCDも出て, 絶好調だ. まだ昼に出てた頃からファンだった僕としては「今頃気づくなんて遅いぜ」と思うのだった.

有田さんがジャムをしにくると, 大変なことになってしまう. あれよ, あれよという間に20人ぐらいの輪にふくれ上がり, ほとんど宗教状態だ. そんな時, 横で僕はブルーリボンの優子ちゃんと2人でしっぽりお酒を飲み. 2人の方がよっぽど幸福だと, ニタニタしているのだった.

コンベンションで優勝しました!

10分に及ぶ長い曲「どこへ行くブルーグラス」を原点に戻ってギター弾き語りでやり, 優勝しました. みんなから「泣けたよー!」と言われました. 不思議なことに若い世代からもそう言われ, ブルーグラスをやることが, いかにハイロウなのか思い知らされた次第です. 通じ合うことができてとてもうれしかった. マネージャー小柳さんがぎっくり腰でしょげかけ, 指揮役ができたのも勝因だったでしょう.

Pick Up Live, & CM

9/12(日) アコースティックボイス Vol.12 ～心の唄と生の音～

PM1:00～7:00 上野水上音楽堂にて 入場無料(カンパ制)

出 チーフ井上とフォークグリラボーイズ. AM. PM ロッキャベツ. ロンサムパインフィールド. トイメンジャオ 他 全12組

ロッキーランチあります

◎ブルーグラス, フォーク, ロック, レゲエと様々な分野の人達が登場します. オリジナル中心のアコースティックのクロスオーバーをお楽しみ下さい.

9/18(土) AM. PM(ブルーグラス) WHS(モダンフォーク)

女性コーラス2人をしたがえVo.柳沢さんが歌います. AM. PM. そしてさわやかなモダンフォークWHSの共演.

10/21(土) Rocky Mt. Crimbers ロッキーユクシランの頂上を目指し, 第2歩! 田口マスターの足のふるえが止まればよいのだが, 足が止まっても心臓がドキドキだろうだ. Vo&Gに小野まり